（様式１の５）

記載例

兵庫・関西における空飛ぶクルマを活用した事業ロードマップ

フェーズ	主要項目	主なアクション	主な対応者	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	拡大期のイメージ
事業検討	事業性の検討	事業化に向けた課題の洗い出し	A社（運行事業者）							
		市場性、事業実現性の検討	A社（運行事業者）							
		事業計画および収支計画の策定	A社（運行事業者）							
	事業体制の構築	離着陸場整備・運営ほか事業者との事業体制検討	A社（運行事業者）							
		離着陸場整備・運営ほか事業者との事業計画合意	全ての事業者							
実証実験	運航ルート・離発着場の検討	運航ルート候補および離着陸場候補地の選定	A社（運行事業者）、D社（調査事業者）							
		ユースケースおよび既存の移動手段との比較検討	A社（運行事業者）、D社（調査事業者）							
		有望ルートおよび離着陸場候補地の絞り込み	A社（運行事業者）、D社（調査事業者）							
	観光商品案の造成	観光商品作成に向けた需要等調査	C社（観光事業者）							
		観光商品の造成	C社（観光事業者）							
	パイロット・スタッフ等の育成	海外の機体メーカー拠点におけるパイロットおよび整備士育成カリキュラムの受講	A社（運行事業者）							
		商用運航初期におけるパイロット、整備士等体制計画の策定	A社（運行事業者）							
		商用運航初期におけるパイロット、整備士等の体制構築	A社（運行事業者）							
	実証フライトの実施	空飛ぶクルマ実機（ヘリコプター）を利用した遊覧フライトの実施	A社（運行事業者）							
		遊覧フライト実施にかかるオペレーションの検討	A社（運行事業者）							
事業化準備	事業実施判断	事業検討、実証実験の結果等を踏まえた事業実施の最終判断	A社（運行事業者）							
	離着陸場の建設（遊覧飛行）	離着陸場の確定	B社（ポート整備事業者）							
		離着陸場整備計画案の策定	B社（ポート整備事業者）							
		離着陸場の建設（既存施設の改修）	B社（ポート整備事業者）							
	離着陸場の建設（短距離2地点間飛行）	初期運航ルートおよび離着陸場の確定	B社（ポート整備事業者）							
		離着陸場整備計画案の策定	B社（ポート整備事業者）							
		離着陸場の建設（既存施設の改修）	B社（ポート整備事業者）							
	観光商品の造成	観光商品のリリースおよびPR	C社（観光事業者）							
	パイロット・スタッフ等の育成	国内におけるパイロット、整備士等の育成体制の構築	A社（運行事業者）							
		国内におけるパイロット、整備士等の育成	A社（運行事業者）							
事業化	運航事業開始	遊覧飛行事業開始	A社（運行事業者）							
		短距離2地点間運航事業　開始	A社（運行事業者）							2030年以降、大阪府および兵庫県を離発着する運航ルートおよび便数を拡大
		中距離2地点間運航事業　開始	A社（運行事業者）							2035年ごろに、中距離(30km)程度の運航を開始

事業実施判断の時期については、必ず明記してください